

# こがねい 市議会だより

発行／小金井市議会 編集／議会報編集委員会

〒184 小金井市本町六丁目6番3号 TEL (0423) 83-1130(直通) FAX (0423) 87-1225

第150号  
9月定例会  
平成5年(1993年)  
11月10日発行



多彩な催しが行われた　なかよし市民まつり

## 乳幼児医療費を無料化

### 9月定例会

#### 9月定例会日誌

9月9日	本会議
10日	一般質問
13日	一本会議 全員協議会
14日	
16日	一般質問
17日	
20日	厚生文教委員会
21日	建設委員会
22日	総務委員会
24日	予算特別委員会
27日	ごみ問題対策特別委員会 全員協議会
28日	一本会議 総務委員会 予算特別委員会 決算特別委員会
29日	一本会議 会期を1日間延長
30日	厚生文教委員会 本会議

#### 廃棄物の処理及び清掃に

#### 関する条例の全部改正を可決

平成5年第3回定例会は9月9日に開会し、会期を1日間延長して9月30日に閉会しました。今定例会では、市長から当初、一般会計補正予算(第2回)、乳幼児医療費助成条例の制定など議案6件が送付されました。また、市長、市議会議員など特別職の報酬等の改正条例4件と共に伴う一般会計補正予算(第3回)の議案5件が、さらには、平成4年度一般会計決算など決算認定5件が追加送付され、合計16件のうち、決算認定5件を継続審査としたほかは、すべてを可決または同意しました。

なお、継続審査としていた、住民からの直接請求による「廃棄物の発生抑制及び資源の再利用の促進に関する条例の制定」は否決、「廃棄物の処理及び清掃に関する条例の全部改正」を可決しました。

予算特別委員会では、一般会計補正予算(第2回)で、保健福祉総合計画策定に向けての対応や自転車置場の確保などについて、また、一般会計補正予算(第3回)で、特別職報酬等審議会のあり方についてなどをただした後、それぞれ賛成多数で可決しました。

9月29日の本会議では、「さいわい保育園の存続を求める請願」について、議員から厚生文教委員会に再付託を求める動議と委員会審査の内容がわかる資料の提出を求める動議が提出され、再付託の動議を可決しました。そのため、同日の深夜、会期を1日間延長し、9月30日は午前0時すぎから、再付託となつた請願の取扱いについて調整が行われた後、厚生文教委員会では、この請願の継続審査を求める動議と質疑打ち切りを求める動議が提出され、質疑打ち切りの動議を可決し、審査を終了。本会議で採択との報告がなされましたが、不採択としました。また、本請願に関し、10名の議員から「事務の検査」を行うとして議案が提出されました。これを否決し、閉会しました。

動議　議案の発案以外の形式により、会議の意思決定を求めて行われる議員の提議をいいます。動議には、えなければならないもの(条例、予算、意見書案等の修正案を備えなくともよいもの(議事進行の動議で休憩、質疑打ち切り、委員会審査省略など)があり、すべて議会に諮って採決しなければならないとされています。

## 補正予算の審査概要

9月24日、28日の2日間にわたり予算特別委員会を開催し、一般会計補正予算2件の審査を15名の委員で行いました。

平成5年度一般会計補正予算(第2回)

平成5年度一般会計補正予算(第3回)

定にあたっては市町村議会の議決を要しないとしている。なお、懇談会等はスケジュール的に難しい状況にあるが、検討委員会の分科会では公募による市民参加で意見を反映させているところである。

さらに、今後の対応については、検討委員会と並行しながら、全力を挙げて原案作成に取り組んでいかないと考えていい。

第1に、蛇の目跡地西側道路整備について、農工大通から南側を優先する予算が組まれていることである。第4に、市長、議員等の報酬引き上げは、厳しい財政状況のなか、市民感情から理解しがたい。よって、反対する。

大衆党 野見山議員

第1に、蛇の目跡地西側道路整備について、農工大通から南側を優先する予算が組まれていることである。第4に、市長、議員等の報酬引き上げは、厳しい財政状況のなか、市民感情から理解しがたい。よって、反対する。

主な質疑

答 市民等の参加については、研究課題としながら、今後とも市民に理解される方法を模索していかない。なお、報酬額は審議会の答申を受けたものであり、妥当と判断している。

主な議案

答 市民等の参加については、研究課題としながら、今後とも市民に理解される方法を模索していかない。なお、報酬額は審議会の答申を受けたものであり、妥当と判断している。

公的医療の充実及び改善を求める意見書

かに何らかの形で異論をもつて同時に、関心を示す方が多い。審議会の中に一般市民が多い。審議会の中には、生計費等の動向や市民意識についての検討が不十分なよう感じたがどうか。

意見書

今定例会では、議員提出議案として意見書8件が提出され、6件を可決、関係機関に送付しましたが、2件は否決しました。可決した意見書の主旨は次のとおりです。

### 反対討論(要旨)

日本共産党 長谷川議員

### 平成5年度一般会計補正予算(第3回)

特別職報酬等の改定に伴い、予備費から167万1000円を議会費に組み替えるもので、予算額に変更はありません。

主な質疑

答

意見書

答

## 議 案 の 審 議 結 果

案 件 名	議 決 結 果	各会派の態度										会派名下の( )は所属議員数△退席
		明 政	日 本 共 産 党	新 政 策 フ ォ ー ラ ム	社会 党	自 民	大 衆	生 活 者 ネ ッ ト	(1)	(2)	(3)	(4)
小金井市廃棄物の発生抑制及び資源の再利用の促進に関する条例の制定について	否決	×	○	×	△	×	△	○	○	○	○	○
小金井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の全部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	△	○	○
平成5年度東京都小金井市一般会計補正予算(第2回)	可決	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めるについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
小金井市乳幼児の医療費の助成に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市自転車の駐車秩序に関する条例の一部改正について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
小金井市有料自転車駐車場条例の一部改正について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市立公園条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
特別職の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
小金井市教育委員会事務局等職員給与条例の一部改正について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
公聴会参加者等の実費弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成5年度東京都小金井市一般会計補正予算(第3回)	可決	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
事務の検査について(議員提出議案)	否決	○	×	△	×	○	○	×	△	×	○	×

今定例会号から、生活者ネットワークの略称が「生活者」から「生活者ネット」に変更になりました。

会派名( )内は略称	明 政 (明政会)	所 属 議 員
日本共産党小金井市議会 (日本共産党)	◎ 清水 渡辺 林	◎ 藤葉 孝彦 篠原 茂夫
小金井市議会公明党 (公明党)	◎ 黒川 和田 大鳥 長谷川 忠男 博道 龍男	◎ 老 吉 昭 洋子
社会党・湧水会議 (社会党・湧水)	◎ 武井 和田 茂雄 鈴木 若竹	◎ 健 熙 森戸 眞也
自由民主党小金井市議会 (自由民主党)	◎ 村野 田中 好美 渡辺	◎ 田中 和彦 洋子 大三
大 衆 (大衆党)	◎ 青木 佐野 ひかる	◎ 中根 三枝
生 活 者 ネ ッ ト (市民権) (生活者ネット)	◎ 五十嵐 京子	◎ 野見 山修吉
生 活 者 ネ ッ ト (市民権) (生活者ネット)	◎ 幸事 長(副幹事 長)	◎ 幸事 長(副幹事 長)

提出先 内閣総理・法務・大蔵・建設・自治・  
(採決結果) 退席・自民党

## 意見書(要旨)

## 公 共 事 業 の 適 正 化 と 不 正 献 金 の 一 掃 を 求 め る 意 見 書

複数の大手建設業者が、直接的にせよ間接的にせよ公共事業の受注に際し、何らかの便宜を図つてもらうことを期待して、日常的に不正献金を行つて来ることが明らかとなつた。この汚染が一部自治体にまで及んでいた事実は憂慮すべきであり、抜本的改善策を打ち出さなければならぬ。公共事業の受注に関連した不透明な「政治家」への金品の提供は、建設業界の談合体質の現れであるとともに、公共事業費をめぐる税金が「政治献金」として流用された疑いの強い悪質な行為である。これら疑惑の真相を徹底究明を行い、人材制度の透明化を図り、公共事業の執行を適正化することが必要である。建設省が10月から導入を検討している制限付き一般競争入札制度が実効ある内容となるよう期待するとともに、不正献金を一掃して政治腐敗を防止するための施策を確立するよう求められる。

また、これらの不正献金は、いずれも企業自らが経費として自己否認をしたうえで、税務上の使途不明金として処理されたものである。政治腐敗を招くだけでなく、金品を受け取った相手の脱税を助けるなど、様々な不正の温床となっている使途不明金をなくすため、適切な課税措置をとるよう求め、企業・団体献金の禁止を強く要望する。

## 建設委員会付託案件

▼ 小金井市自転車の駐車秩序に関する条例の一部改正について

賛成討論(要旨)  
社会党・湧水 若竹議員

加えるものです。駐車場の位置、使用料等は下記图表のとおりです。

第一に、自転車対策をす

る経費が、使用料等の収入を大幅に上回っている状況のな

どで、有料化はやむを得ない

と考える。

み無料とすることはできない。

第3に、すでに武藏小金井駅

駅周辺や東小金井駅北口の駐

輪場は有料であり、利用者の

公平性から東小金井駅南北口の

比較しても、ほぼ平均的であ

ること。しかし、受益者負担

というならば、駐輪場を設置

べきは鉄道事業者であり、

法改正を市長会等を通じて勧

す。

べきは、建設業者である。

したがって、政府は、先の通常国会で採択された「地

方分権の推進に関する決議」を尊重し、国と地方の役割

を見直し、事業の再配分、権限の地方委譲をはじめ、

抜本的な地方分権を進めるため、「地方分権推進法」の制

定を強く求めるものである。

したがって、政府は、先の通常国会で採択された「地

方分権の推進に関する決議」を尊重し、国と地方の役割

を見直し、事業の再配分、権限の地方委譲をはじめ、

抜本的な地方分権を進めるため、「地方分権推進法」の制

定を強く求めるものである。

したがって、政府は、先の通常国会で採択された「地

方分権の推進に関する決議」を尊重し、国と地方の役割

を見直し、事業の再配分、権限の地方委譲をはじめ、

## 改正について

東京一極集中は大都市において住宅問題の深刻化、生息環境の悪化、通勤ラッシュの激化などをもたらす一方、地方では人口流出、産業衰退など過疎化や地域格差の拡大を引き起こしている。これらは是正集権政策の転換なしにはあり得ない。行政審議、地方制度調査会、地方6団体においても再三にわたって権限委譲、地方法改正を求める答申・提言が出されているが、実現したもののはわずかに過ぎない。

したがって、政府は、先の通常国会で採択された「地

方分権の推進に関する決議」を尊重し、国と地方の役割

を見直し、事業の再配分、権限の地方委譲をはじめ、

抜本的な地方分権を進めるため、「地方分権推進法」の制

定を強く求めるものである。

したがって、政府は、先の通常国会で採択された「地

方分権の推進に関する決議」を尊重し、国と地方の役割

を見直し、事業の再配分、権限の地方委譲をはじめ、

抜本的な地方分権を進めるため、「地方分権推進法」の制

定を強く求

## 請願・陳情の審議結果

各会派の態度 ○賛成×反対△退席  
会派名下の( )は所属議員数

ごみ問題対策特別委員会  
付託案件  
小金井市廃棄物の処理及び  
清掃に関する条例の全部改  
正について  
一廃棄物の処理及び清掃に  
関する法律の改正及び再生資  
源の利用の促進に関する  
法律との対応を図り、将来に  
向けた廃棄物対策を確立す  
るため、市長、事業者、行  
政が、それぞれの立場で再  
利用及び資源化を徹底する  
とともに、他の都市との連  
携を高め、人と環境が調和的  
に共生する循環型社会を実現  
したりサイクル型都市の形  
成を目指すというものでござ  
ります。なお本件につきましては、  
おまかせください。

委員から、条例の趣旨を明確にする意味から前文を整理するとともに、本条例の実効あるものとするため、事業者及び市の責任等を明確にするとして修正案が提出されました。否決しました。

企業の責任を明確にした行政指導と広く市民参加を求めるよう要求する。また、市長会においても、や議長会においても、これらの方針的立場に向けた積極的な取り組みを要求するものである。そして、我々もその実現のために奮闘する決意を表明し、賛成する。

**公明党 和田(衆議院議員)**

本案は、市民から提出された直接請求の意向を十分取り入れたものであつては市民のごみ執行にあたつては市民のごみのリサイクルに対する様々な要望を考慮し、対処していくべきようお願いしたい。我が党は、一貫してリサイクル行政の推進に努力してきたが、現在、事業者責任の問題は重要な課題である。また、数日要を考えている。

請願・陳情書

請願・陳情書は、上記のとおりです。(継続審査とした案件は8ページに掲載)

厚生文教委員会付託提案件

▼年金制度の大改悪に反対し年金制度の抜本的改革を求める陳情書

賛成討論 (要旨)

日本共産党 板倉議員

厚生省の年金制度改革に際し、厚生年金支給開始年齢を21世紀初めまでに60歳から65歳に引き上げる。年金給付額は引き下げる。保険料は段階的に引き上げるほか、ボーナスからも徴収するとしている。しかし、これでは税金・社会保険料の負担が非常に重くなるしかかるばかりである。1985年には、厚生年金制度が改定され、基礎年金の導入、資格期間の延長が行われたが、国の負担は削減されなかったが、国の負担は削減され

前には、厚生省が製造・流通業者へののみ引き取り・東京の処理の義務付けを提言し、ごみ発生抑制策を打ち出した。リサイクルは必要不可欠である。以上の点を十分留意して、対応されるよう要望して、成する。

## 乳幼児医療費無料制度に関する意見書

247







